

岩手県立大船渡病院電気設備等保守点検業務仕様書

1 保守点検業の実施方法

- 1) 本特記仕様書による他、国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和5年度版）に基づき実施する。
- 2) 受託者は、本特記仕様書に基づき施設管理責任者及び電気主任技術者と入念に打合せを行い、実施日程表を作成し承認を受けたうえ、病院業務に支障ない時間帯において病院係員立会いのもとに実施する。
- 3) 受託者は、保守点検業務を実施するに当たり、電気事業法、建築基準法、消防法及びその関係法令を遵守し、誠実、かつ、適正に遂行する。

2 保守点検業務場所

- 1) 県立大船渡病院（救命救急センター、精神科病棟、感染病棟、第2受水槽を含む）
大船渡市大船渡町字山馬越 10 番地 1
- 2) 県立大船渡病院合同公舎（院内保育所を含む）
大船渡市大船渡町字山馬越 27 番地 7、大船渡市大船渡町字地の森 35-13

3 保守点検等業務の種類及び設備数量

- 1) 受託者が行う保守点検業務の種類は、1-1 表の左欄に掲げる区分に応じ、同表の右欄に掲げる電気設備等の保守点検業務を点検周期に基づき実施する。

1-1

区分	電気設備等の保守点検業務の種類	点検周期
1 自家用電気工作物年次点検	1-1 受変電設備	年 1 回
	1-2 自家発電設備	
	1-3 直流電源装置	
	1-4 交流無停電電源装置	
2 防災設備	2-1 自動火災報知設備	6 ヶ月に 1 回及び年 1 回
	2-2 ガス漏れ火災警報設備	
	2-3 非常警報設備（放送設備）	
	2-4 誘導灯	
	2-5 防火戸・排煙設備	
	2-6 非常通報設備	
3 合同公舎棟防災設備	3-1 看護師公舎棟院内保育所 自動火災報知設備 誘導灯設備	6 ヶ月に 1 回及び年 1 回
	3-2 看護師公舎棟 非常警報設備	
	3-3 医師公舎棟 非常警報設備	
	3-4 地の森合同公舎 自動火災報知設備 非常警報設備	
4 仮設電源工事	4-1 受変電設備点検に伴う仮設工事	年 1 回
	4-2 本館 UPS 設備点検に伴う仮設工事	
4 仮設電源工事	4-3 救急棟 UPS 設備点検に伴う仮設工事	年 1 回

	4-4 非常用発電機点検に伴う仮設工事	年 2 回
	4-5 非常用発電機設備に係るオイル・冷却水・他関係部品交換作業	3 年に 1 回

※防災設備の点検周期のうち、6ヶ月に1回は外観、及び機能点検をいう、年1回は外観、機能、及び総合点検をいう。

2) 設備数量は別紙1 設備数量表による。

4 保守点検業務基準

1) 保守点検業務の基準は本特記仕様書による他、別紙1の区分による保守点検業務の種類毎に国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和5年度版）に基づき実施する。

ただし、国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和5年度版）のうち、点検周期が3年及び5年のものを除く。

2) 別紙1の区分による自家用電気工作物年次点検は、別紙自家用電気工作物保安規程に基づく内容についても実施する。ただし、保安規程別表1及び2のうち周期が3年及び5年のものを除く。

5 保守点検業務の実施時期

実施時期は1-1表左欄の区分毎に次の期間内に実施する。ただし、病院業務の都合により変更することがある。

1) 自家用電気工作物年次点検

10月に実施する。

2) 防災設備、合同公舎棟防災設備

外観、及び、機能点検は8月に実施する。

外観、機能、及び総合点検は3月に実施する。

6 自家用電気工作物年次点検における停電作業

受変電設備は商用（AC）回路のA系統と商用・発電（AC・GC）回路のB系統で構成されており、変圧器二次側でAC回路からAC・GC回路へバイパス回路が設置されている。このバイパス回路を利用して、B系統負荷設備電源を停電せず実施する。ただし、シーケンス操作時、幹線配線及び分岐回路の点検時を除く。

1) 商用（AC）回路のA系統点検

商用電源を受電停止し、非常用発電機を運転して商用・発電（AC・GC）回路のB系統に電源供給を行いながら実施する。

2) 商用・発電（AC・GC）回路のB系統点検

商用電源を受電し、AC回路からAC・GC回路へバイパス回路を利用してB系統に電源供給を行いながら実施する。

3) 商用・発電（AC・GC）回路のB系統幹線配線及び分岐回路点検

幹線1系統毎に部分停電を行いながら実施する。

分岐回路毎に部分停電を行いながら実施する。

この点検時間内に停止できない医療器械等は、商用（AC）回路コンセントに接続替えして実施する。

7 保守点検業務報告書

- 1) 業務の結果を点検周期により実施した都度、保守点検業務報告書を作成し速やかに施設管理責任者に提出する。
- 2) 保守点検業務報告書の様式は、1-1 表右欄の区分による保守点検業務の種類毎に、国土交通省建築保全業務報告書作成の手引き（令和5年度版）に基づく書式等による。

3) 提出部数

- ・ 自家用電気工作物年次点検 1部
- ・ 防災設備
 - 外観、及び機能点検 1部（自家発電設備を含む）
 - 外観、機能、及び総合点検 2部（自家発電設備を含む）
- ・ 合同公舎棟防災設備
 - 外観、及び機能点検 1部
 - 外観、機能、及び総合点検 2部

8 契約期間内の措置

本契約期間内に、保守点検業務対象設備に故障等の異常が生じた場合は、直ちに技術員を派遣し調査、修理を実施する。

9 修理等の措置

保守点検業務及び故障等の異常が生じた場合の調査の結果、部品等の交換による修理が必要な場合は、次の材料を除き別に見積して受注のうえ施工する。

- 1) 国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和5年度版）に基づく、保守に必要な消耗部品又は、材料、油脂等。
- 2) 国土交通省建築保全業務積算基準（令和5年度版）に基づく、直接物品費に係る資機材。
- 3) 無停電電源装置、非常用発電機、受変電設備保守点検に伴う仮設電源に係る資材。
- 4) 受変電設備リレー交換・保護継電器交換に係る資材。
- 5) 非常用発電機設備に係るオイル・冷却水交換

10 施設設備図面

保守点検業務に必要な施設設備図面は、病院が保管している工事完成図の最新版を借受け、複写のうえ使用する。

設備数量表

区 分	点検周期	項 目	設 備 数 量	
1 自家用電気工作物年次点検				
1-1 自家発電設備				
1) ディーゼル発電装置 (シリンダー数6・消防設備点検とも)	6ヶ月1回	(1) 発電機	高圧、ラジエーター式 1000KVA	2 台
	年1回	(1) 発電機	高圧、ラジエーター式 1000KVA	2 台
		(2) 自動始動機盤	保護継電器共	2 面
1-2 直流電源装置	年1回	(1) 整流装置	100V系鉛蓄電池400Ah	1 組
		(2) 蓄電池	シール形鉛蓄電池400Ah	52 セル
1-3 交流停電電源装置	年1回	(1) 本体	単体システム50KVA	1 台
			単体システム30KVA	1 台
		(2) 整流装置	鉛蓄電池150Ah	1 組
			鉛蓄電池100Ah	1 組
		(3) 蓄電池	シール形鉛蓄電池150Ah	168 セル
	シール形鉛蓄電池100Ah	144 セル		

設備数量表

区 分	点検周期	項 目	設 備 数 量	
2 防火設備				
2-1自動火災報知設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	受信機 GR型 510回線	1 面
			副受診機 R型	1 面
			副受診機 P型 15回線	8 面
			副受診機 P型 20回線	2 面
			中継機 20回線用	11 台
			中継機 40回線用	3 台
			定温式スポット型感知器	257 個
			煙感知器	926 個
			発信機	94 個
			表示灯	106 個
			消化栓(SP)起動装置	1 個
			常用電源 交流電源	1 組
			予備電源 蓄電池	1 組
	年1回	外観、機能、総合点検	受信機 GR型510回線MAX	1 面
			副受診機 R型	1 面
			副受信機 P型 15回線	8 面
			副受診機 P型 20回線	2 面
			中継機 20回線用	11 台
			中継機 40回線用	3 台
			定温式スポット型感知器	257 個
			煙感知器	926 個
			発信機	94 個
			表示灯	106 個
			消化栓(SP)起動装置	1 個
			常用電源 交流電源	1 組
			予備電源 蓄電池	1 組
2-2ガス漏れ火災警報設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	受信盤 自動火災報知設備に含	
			表示盤 自動火災報知設備に含	
			検知器 DC 24V 警報付	15 個
			検知器 AC 100V 警報付	1 個
			中継機 40回線用	5 個
			常用電源 自動火災報知設備に含	
			予備電源 自動火災報知設備に含	
	年1回	外観、機能、総合点検	受信盤 自動火災報知設備に含	
			表示盤 自動火災報知設備に含	
			検知器 DC 24V 警報付	15 個
			検知器 AC 100V 警報付	1 個
			中継機 40回線用	5 個
			常用電源 自動火災報知設備に含	
			予備電源 自動火災報知設備に含	

設備数量表

区 分	点検周期	項 目	設 備 数 量	
2-3非常警報設備(放送設備)	6ヶ月1回	外観、機能点検	増幅器操作部 1,560W	1 台
			自動火災報知設備連動	1 台
			スピーカ回線 スピーカ	780 個
			音量調節器	287 個
			遠隔操作器	2 台
			カットリレー	4 台
			常用電源	1 組
			非常電源	1 組
	年1回	外観、機能、総合点検	増幅操作部 1,560W	1 台
			自動火災報知設備連動	1 台
			スピーカ回線 スピーカ	780 個
			音量調節器	287 個
			遠隔操作器	2 台
			カットリレー	4 台
2-4誘導灯設備	6ヶ月1回/ 年1回	外観、機能点検	非常口、通路、階段通路	402 台
			信号装置	2 台
2-5防火戸・排煙設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	制御盤 自動火災報知設備に含	
			煙感知器	97 個
			ダンパー	43 個
			排煙口	22 個
			防火戸	83 枚
			電動式防火シャッター 煙連動	4 枚
			警報ブザー	4 個
	年1回	外観、機能、総合点検	制御盤 自動火災報知設備に含	
			煙感知器	97 個
			ダンパー	43 個
			排煙口	22 個
			防火戸	83 枚
			電動式防火シャッター 煙連動	4 枚
	6ヶ月1回	外観、機能、総合点検	制御盤	1 台
			煙感知器	29 個
			防煙スクリーン	41 枚
			警報ブザー	29 個
	年1回	外観、機能、総合点検	制御盤	1 台
煙感知器			29 個	
防煙スクリーン			41 枚	
警報ブザー			29 個	
2-6非常通報設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	制御盤 送受話器	1 式
	年2回	外観、機能、総合点検	制御盤 送受話器	1 式

区 分	点検周期	項 目	設 備 数 量	
3 合同公舎棟防災設備				
3-1看護師公舎棟院内保育所				
3-1-1自動火災報知設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	受信機 P型2級3回線	1 面
			定温式スポット型感知器	9 個
			差動式スポット型感知器	11 個
			煙感知器	1 個
			炎感知器	2 個
			発信機	1 個
			表示灯	1 個
			常用電源 交流電源	1 組
	予備電源 蓄電池	1 組		
	年1回	外観、機能、総合点検	受信機 P型2級3回線	1 面
			定温式スポット型感知器	9 個
			差動式スポット型感知器	11 個
			煙感知器	1 個
			炎感知器	2 個
発信機			1 個	
表示灯			1 個	
常用電源 交流電源			1 組	
予備電源 蓄電池	1 組			
3-1-2誘導灯	6ヶ月1回/ 年2回	外観、機能点検	非難口、通路、階段通路	3 台
			非難口、通路、階段通路	3 台
3-2看護師公舎棟 非常警報設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	4 面
	年1回	外観、機能、総合点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	4 面
3-3医師公舎棟 非常警報設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	10 面
	年1回	外観、機能、総合点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	10 面
3-4地の森合同公舎				
3-4-1自動火災報知設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	受信機 GP型 3級	31 組
			中継機	31 組
			定温式スポット	31 組
			差動式スポット	31 組
	年1回	外観、機能、総合点検総合	受信機 GP型 3級	31 組
			中継機	31 組
			定温式スポット	31 組
			差動式スポット	31 組
3-4-2非常警報設備	6ヶ月1回	外観、機能点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	5 面
	年1回	外観、機能、総合点検	非常ベル複合装置 蓄電池内臓	5 面
4 仮設電源工事				
4-1 受変電設備点検	年1回	左記点検の仮設工事	発電機リース代、ケーブル等	1 式
4-2 本館UPS設備点検	年1回	左記点検の仮設工事	発電機リース代、ケーブル等	1 式
4-3 救急棟UPS設備点検	年1回	左記点検の仮設工事	発電機リース代、ケーブル等	1 式
4-4 非常用発電機点検	年1回	左記点検の仮設工事	発電機リース代、ケーブル等	1 式

様式 第1号

保守業務完了報告書

令和 年 月 日

岩手県立大船渡病院長 様

(受託者)

印

保守業務委託契約書及び仕様書より、保守点検実施計画書に従って、下記のとおり業務を完了したので報告します。

記

保守業務名		岩手県立大船渡病院電気設備等保守点検業務	
契約額	総額	円 (うち消費税及び地方消費税額 円)	
	今回完了額	円 (うち消費税及び地方消費税額 円)	
契約期間	全体期間	自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日	
	今回完了期間	自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日	
備考			